

上田電鉄の「千曲川橋梁」復旧を記念した日本酒 「千曲川橋梁復旧祝い酒」が本日より数量限定で発売！ 包み紙には貴重な大正13年当時の「千曲川橋梁」図面を使用



沓掛酒造株式会社（本社：長野県上田市、代表取締役：沓掛由利子）は、2019年10月の台風19号の影響により橋の一部が崩落する被害を受けた、長野県上田市の上田駅と別所温泉駅を結ぶ上田電鉄別所線の「千曲川橋梁」が3月28日に復旧することを記念し、本日3月22日より日本酒「千曲川橋梁復旧祝い酒」を数量限定にて発売いたします。

上田市武石地域で栽培し、幻の酒米といわれている「金紋錦」を使用した「千曲川橋梁復旧祝い酒」は、華やかな香りと濃醇な味わいです。また、包み紙には、貴重な1924年（大正13年）当時の「千曲川橋梁」の設計図の複製を採用しています。

■「千曲川橋梁復旧祝い酒」販売開始日時：
2021年3月22日（月）10時

■「千曲川橋梁復旧祝い酒」商品URL：
<https://kutsukake-sake.com/newproduct-besshosen-restoration>



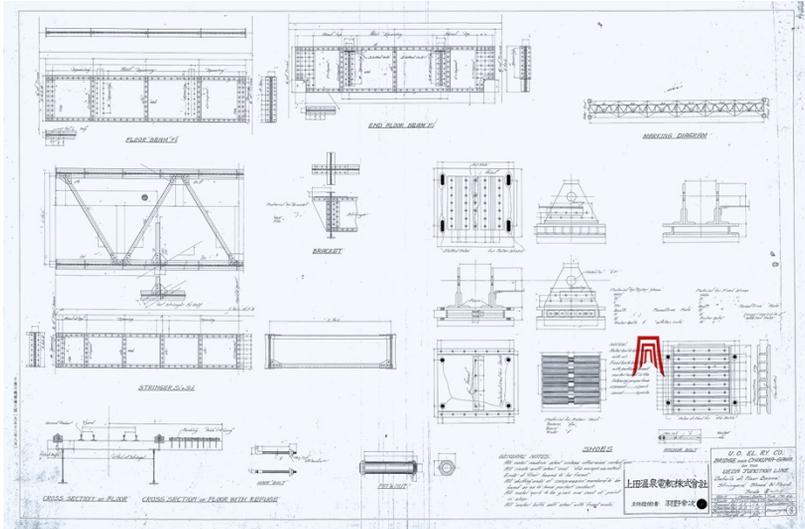
■「千曲川橋梁復旧祝い酒」について：

上田電鉄別所線の「千曲川橋梁」復旧を記念し作られた限定1,000本の「千曲川橋梁復旧祝い酒」は、上田市武石地域で栽培された「金紋錦」を100%使用。幻の酒米といわれている「金紋錦」で醸したお酒は、華やかな香りと濃醇な味わいが特徴です。

720ml

1,980円（税込）

■1924年（大正13年）当時の「千曲川橋梁」の設計図を使用した包み紙：



■「千曲川橋梁」について：

1924年（大正13年）に設立された長野県の上田駅と別所温泉駅を繋ぐ別所線の全長224.18 mの赤い橋で、2019年10月に発生した台風19号の影響により橋の一部が崩落する被害を受けました。しかし、2年の歳月を経てようやく復旧され、2021年3月28日に全線開通を予定しています。

■「沓掛酒造株式会社」について：

長野県上田市の老舗酒造会社。沓掛権右衛門により江戸元禄年間（1688～1704年）に創業。酒造業を営んで300余年の歴史を持つ。代表銘柄は「福無量」（ふくむりょう）、および「互」（ご）。

〒386-0043 長野県上田市下塩尻 35 TEL：0268-22-1903 / FAX：0268-25-4724

公式ホームページ：<https://kutsukake-sake.com/>